

## [熊本 S.J.C.D.例会 抄録]

演題 外傷歯牙に補綴処置を施した 1 症例

演者名 鶴田 善久

日付 2011 年 3 月 22 日

### Keywords

- 1 歯牙脱臼
- 2 補綴処置による歯牙の形態の修正
- 3 メインテナンス

### 抄録

患者は 2010 年 12 月 26 日に職場にて転倒、112 の歯牙を脱臼され、熊本市内の休日当番歯科医院を受診、紹介により翌日当院を受診されました。

当該歯にはレジン+ワイヤーにて整復固定されており、12 には象牙質まで及んでいる破折がみられ、約 3 週間における経過観察後、3 歯とも生活反応はマイナスを示しており、感染根管処置を行いました。

同時に診断用ワックスアップによりやや捻転している歯牙の形態の改善を図り、支台築造後、プロビジョナル・レストレーションを装着しました。

このようなケースの場合、皆様方でしたらどう対応されたのか、経験豊富な先生方のみならず若い先生方からもご意見を伺い、今後の診療に役立てたいと思います。よろしくお願ひします。